

学校教育目標	心も体も健康な子（元気）	すすんで助け合う子（思いやり）	○よく考えて実行する子（学び）	○は本年度重点目標
基本方針	中期目標	今年度の重点目標	具体的な方策	成果の検証
安心して生活でき、一人一人の居場所がある学校	生活指導を一層充実させる。 教育相談を一層充実させる。 人権教育を一層充実させる。 食育を推進する。 防災・安全教育を推進する。	いじめを見逃さない学級経営を行う。 規範意識を高め、傍観者の態度を取らせない。 児童の心に寄り添い児童の声を聴く。児童が教職員から見守られていると実感できるようにする。 自分の人権も他者の人権も守れる児童を育てる。 自他の命を大切にすることを育てる。 望ましい食習慣を身に付ける態度を養う。 危機回避能力を育てる。	いじめ対策委員会を通じて、いじめの早期発見早期対応に努める。 清掃活動や栽培活動を中心に思いやりの気持ちをはぐくむ 巡回相談を活用する。教師と児童の対話を重視し信頼関係の確立を図る。 スクールカウンセラーを積極的に活用する。5年生全員の面接を行う。 言葉遣いは心遣いを合い言葉に人権教育を推進し意識を高める。 自他の生命を尊重する意識を高め、呼名は名字に敬称を付ける 栄養士を中心に食育を推進し、食物アレルギー対策に努める。 セーフティー教室や体験的活動を行い、防災教育を充実させる。	学校評価アンケート・聞き取り 学校評価アンケート 学校評価アンケート
学ぶ喜び、できる喜びが実感できる学校	「できた」「わかった」による児童の自信と学習満足度を向上させる。 基礎的な知識・理解や技能の活用による思考力や判断力を向上させる。 学力向上委員会の充実を図る。	課題解決型授業を推進する。ねらいを明確にした分かりやすい授業、魅力ある課題設定に努める。 一人一人の課題を発見し、それを克服する。 綿密な授業計画を作成する。 児童の主体性を育てる。 学習規律を確立させる。 学力向上担当を中心に学力向上に向けた全校的な取り組みを推進する。	多様な考えがもてる授業作りを行い、自分の課題に応じた活動を自己決定できる力をつけていく。ICT機器を活用して学級全体で共有し、練り上げを行う。発言する機会を積極的に取り入れていく。 週の指導計画、授業改善プランを活用する。本時の評価規準を確認する。 単元名や授業のねらいを必ず板書し、学習の見通しをもたせる。 「はい、立つ、です」「姿勢・視線」などの授業規律を校内で統一する。 学年での授業交換等、教員の能力を生かした指導体制を構築する。 ぐんぐんタイムや「好きを大切に」を意識した家庭学習を中心に、課題を含め自ら進んで学ぶという意識を定着させる。	学校評価アンケート 自己評価・授業観察 授業観察 各種学力調査
自主、自立の精神に満ちた児童の育成	学級の中で児童一人一人が自分の役割を確認し、自尊感情が高まるようにする。 特別活動を充実させ、児童一人一人が主体的に判断し活動できるようにする。	学習面、生活面で一人一人の児童に何のために行うのか、目標を明確にさせる。目標達成に期待を伝え、励まし、良さを認め自己肯定感を高める。 学級活動、児童会活動、学校行事などを通し、人に役立つ喜びを味わわせ、自己有用感を高める。	授業時間のみならず、休み時間、給食、清掃、放課後などの児童と触れ合える時間を大事にし、ありのままの姿を認める。子供の小さな変化に気づき、向上心のもてる指導をしていく。 学級での係活動や、委員会活動などで児童の行動を具体的に励まし、自身の意見を表現する意欲とがんばりを評価していく。	学校評価アンケート 学校評価アンケート
家庭・地域社会との協働による開かれた学校 地域運営学校の推進	開かれた学校から、開かれた教育課程を目指す。多様な人々とのつながりを保ちながら学ぶ。 「チーム片倉台小」の意識をもつ。	保護者、地域と協働し学校の環境整備を行い、安全できれいな学校を目指す。各種ボランティアとの連携を図る。放課後子ども教室の充実を目指す。児童・職員・地域との交流を推進する。	栽培活動や校舎周辺の清掃、および外周の整備を協力して行う。 HPやメール配信等で保護者・地域に対しての情報発信を充実させる。 青少対主催の地域行事に児童、職員がボランティアとして参加する。 夏祭り、防災訓練に職員がボランティアとして参加する。	学校評価アンケート 学校評価アンケート
特別支援教育の充実 インクルーシブ教育の推進	配慮を要する児童が混乱なく生活できるようにする。	校内委員会を充実させ、関係者会議を開催する。 学校サポーター（支援）の積極的な活用を図る。 障がいに関する知識や理解の推進を図る。	特別支援教室拠点校としての利点を生かし、担任の校内支援を行う。対象児童の適応改善に向け、本校職員、保護者、関係機関（こども家庭センター、教育相談所、医療機関）と綿密な連携を図る。	学校評価アンケート 児童のアンケート
特色ある教育活動	小中一貫教育を推進する。 異学年交流を推進する。	由井第二小学校、由井第三小学校、由井中学校との小中一貫教育を推進する。9年間を見通した連続性のある指導を行う。 異学年交流を行い、学年の違う児童同士が助け合い、協力し合い相手を思いやる心を育てる。	小・中学校の教員が意見交換会を学期に1回行い、指導法や指導計画についての情報を交換し、連携を深める。また、小・中学校合同で同じ期間にあいさつ運動等を実施する。 児童の発達段階に配慮した縦割り班活動を充実させていく。	学校評価アンケート 学校評価アンケート
防災体制の確立	能登半島地震、東日本大震災の教訓をもとに防災体制を確立する。	今後30年以内に70%の確立で起こるとされているM7クラスの直下型地震に備える。	地域と連携した防災教育を通して、防災体制を確認する。 『3.11を忘れない』『地震と安全』を活用する。社会科見学、遠足など、あらゆる場面で対応できるようにする。独自に非常用食料を備蓄する。	学校評価アンケート